



あなたが万が一 新型コロナウイルス感染症にかかってしまう前に 済ませておくべき ペットを預ける準備のポイント



■ ポイント

新型コロナウイルス感染症と診断されると、最低2週間、隔離環境に置かれることになります。

そのため、飼育するペットのフードなどを新たに入手できなくなるかもしれません。

あらかじめペットの命や健康に係わるもの等、優先順位を設けて用意しましょう。

「3日分」など日数を決めて用意するのではなく、使ったら買い足していくというローリングストック方式で十分な量を備えるのがいいでしょう。

■ 病気治療中のペットを預ける場合に備えて

ペットが服用中の薬は多めに処方していただくといいでしょう

※最低2週間分がいつも手元にあるように

必要な処方食、検査結果や治療経過、注意点等の申し送り書も用意しましょう。



■ 健康なペットを預ける場合に備えて

与えているフード以外にも、新しい環境になるので食欲不振の際に嗜好性が高いおやつがあると安心です。消毒が可能なら、小さい遊具もペットが安心するかもしれません。

消毒ができないような敷物は預けられませんから注意してください。



特殊なペット（エキゾチック）については飼養管理の方法等、申し送り書があると預かる側が助かります。

■ 高齢のペットを預ける場合に備えて

高齢のペットは一般にストレスに弱いので、体調を崩さないように消化の良いフードがおすすめです。普段与えているフードのほか、液状・ペースト状や機能性食品等の摂取しやすいフードを用意すると良いでしょう。



■ すべてのペットに共通の備え

1) ペットの情報をノートなどにまとめておく

- ・名前、年齢、性別、不妊去勢手術の有無、運動習慣、性質、嫌がること、怖がること、好きなこと、喜ぶことなどを記録する

- ・マイクロチップの有無（有の場合は番号）

- ・飼育上の注意点（脱走癖、食べ物への執着、攻撃性等）や生活習慣を記しておくことも大切です。特に咬傷事故が起きないように細かな記述をするなどの配慮をしてください。

- ・管理に関する情報

預かりペットのことで相談できる人を最低2名確保しましょう。その方達の緊急連絡先も

記録しておきます。また、かかりつけの動物病院名・連絡先も記録しましょう。

2) 逸走対策を行う

- ・個体識別・飼い主明示（首輪、名札、迷子札、MC）等、逸走対策をしましょう。



しっかり言い聞かせる

万が一、どこかに預けることがあっても、頑張って治って
迎えにいくから、いい子で、元気で待っているように
言い聞かせましょう。

**そして何より有効な対策は、あなたが感染しないこと！
大切なペットを守るためにも、感染対策に取り組んでください！**

